

山下ふ頭の概要・立地について

概要

山下ふ頭は、横浜ベイブリッジの内側、いわゆる内港地区に位置する一般貨物対応の総面積約47haの埠頭であり、現在は上屋、倉庫、荷さばき地、事務所などが立地し、本牧、南本牧等のコンテナ埠頭を補完する物流機能を担っています。

山下ふ頭の特長

約47haに及ぶ広大な開発空間

周囲を囲む穏やかな水域

高い交通利便性

横浜港の良好な景観

周辺の観光資源

立地



山下ふ頭の再開発について 答申を踏まえた基本的な方向性を とりまとめました

市民意見募集を行います（7/1～9/9）



〒2264 005 見本

神奈川県横浜市中区本町
6丁目50番地の10
横浜市港湾局 山下ふ頭再開発調整課 行

【住 所】 ☐ 横浜市 区 ☐ 横浜市内

【年 代】 ☐ ～10歳代 ☐ 20歳代
☐ 30歳代 ☐ 40歳代
☐ 50歳代 ☐ 60歳代
☐ 70歳代 ☐ 80歳代～

ご協力ありがとうございました

横浜市 港湾局
山下ふ頭再開発調整課
令和7年6月作成
TEL：045-671-7314
FAX：045-550-4961

答申を踏まえた基本的な方向性の概要

答申を踏まえた基本的な方向性とは

本方向性は、これまで実施した2度にわたる市民意見募集、市民意見交換会等の結果や、横浜市山下ふ頭再開発検討委員会からの答申で示された「目指すべき姿」と「基盤・空間の考え方」をもとに、本市が描く新たなまちの姿をイメージいただけるよう、骨格となる山下ふ頭の将来像として、再開発のテーマと具体的な取組の考え方を取りまとめたものです。

再開発に向けた検討経過と今後の検討の進め方

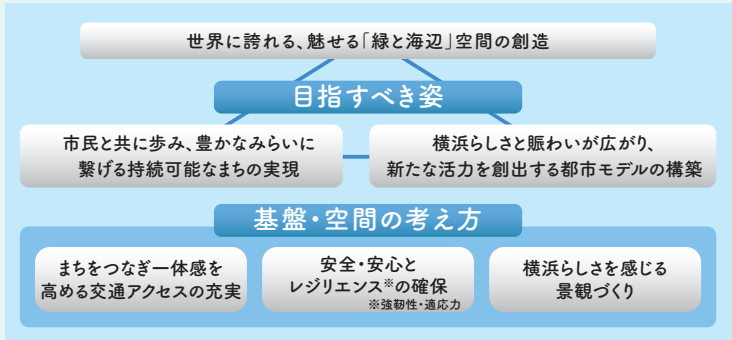
【検討経過】

- 2021年12月～2022年6月 第1回市民意見募集・意見交換会・事業者提案募集
- 2022年11月～2023年2月 第2回市民意見募集・意見交換会・法人提案募集
- 2023年8月～2024年12月 横浜市山下ふ頭再開発検討委員会
- 2024年12月 横浜市山下ふ頭再開発検討委員会からの答申

意見交換会の様子



答申の全体像



今回 2025年6月 答申を踏まえた基本的な方向性

【今後の検討の進め方】

- 2025年7月～ 市民意見を伺う取組
- 2025年度中 事業計画案
- 市民意見募集
- 新たな事業計画
- 2026年度頃 事業化

市民意見を伺う取組を実施し、議論を積み上げ、より良い事業計画の案を作成していきます。また、作成した事業計画案に対しても、改めて市民の皆様のご意見を伺い、新たな事業計画を策定していきます。

※ 市民意見を踏まえ民間事業者へのヒアリング等も行っています。

山下ふ頭の将来像

山下ふ頭再開発は、横浜市山下ふ頭再開発検討委員会からの答申を踏まえ、新たなまちの将来像として、まちづくりの3つのテーマと、その土台となるインフラ構築・空間整備の考え方をもとに推進していきます。

この中で、テーマI「世界に誇れる、魅せる『緑と海辺』空間」は、山下ふ頭再開発の最も大きな軸と位置づけており、他のテーマを包含する関係性となっています。

また、3つのテーマが重なり合う中心に、「市民が結ぶ新たなまちの環」として、市民の皆様をはじめとする多様な主体が参画できるまちづくりの考え方を示しています。

テーマⅠ 世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間

多くの人々の関心を惹き、新たな発見や感動をもたらす、旅のデスティネーションとなるような、魅せる「緑と海辺」を実現する

テーマⅡ 持続可能なまちを支える明日へのイノベーション

絶え間ないイノベーションの創出や最先端の技術が実装される脱炭素都市など、時代のニーズに応え続ける持続可能なまちを実現する

市民が結ぶ新たなまちの環

多様な主体が参画できるまちづくりを行い、市民一人ひとりのシビックプライドを醸成する

テーマⅢ 活気に満ちあふれ、周辺へと広がる新たな賑わい

世界から選ばれる象徴的な賑わい創出により、新たな活力と活力が、市域へと波及するまちづくりを実現する

P4・5へ→

「緑・海辺のまち」を支えるインフラ構築と空間整備

利便性・回遊性向上につながる交通機能の強化、頻発する大規模災害等に備えたまちづくり、これからの横浜を代表し、世界に誇る景観デザインの形成など、新たなまちの土台となるインフラ構築や空間整備に取り組む

P6へ→

【新たなまちの将来像】

再開発のテーマと取組の考え方（概要）

テーマⅠ 世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間



取組の考え方1 多くの人々の関心を惹く緑・海辺空間

- ① 周辺地域と連なる水際線と、都市を包み込む魅力的な緑・海辺空間の創出
- ② 都市と自然が共生した、ここにしかない緑・海辺



取組の考え方2 新たな発見や感動をもたらす緑・海辺空間

- ① 体験・体感による行動変容や新たな交流を生む緑・海辺の創出
- ② ウォーターフロントの空間が織りなす非日常

テーマⅡ 持続可能なまちを支える 明日へのイノベーション



取組の考え方1 多様な人材・技術の 交流による絶え間ない イノベーションの創出

- ① 緑・海辺の環境を生かしたイノベーション拠点の創出
- ② 体験・体感によるイノベーションの循環と発展
- ③ 人材育成によるイノベーション創出のための土壌形成



取組の考え方2 時代の最先端の技術が 実装される世界を代表する グリーン社会の実現

- ① 先導的なグリーン技術が広がる、常に新しいまち
- ② 付加価値を生み出す循環型のまちづくり
- ③ 世界の脱炭素化を先導する効果的なエネルギー利用
- ④ 都市に寄り添う自然の再興

市民が結ぶ 新たなまちの環



豊かな緑・海辺空間における環境保全や交流促進の取組

イノベーションにより生まれた最先端技術の体験・体感

オープンスペースの活用等による賑わいづくりと地域活性化

国内外からの来街者を迎え、もてなす温もりある環境づくり

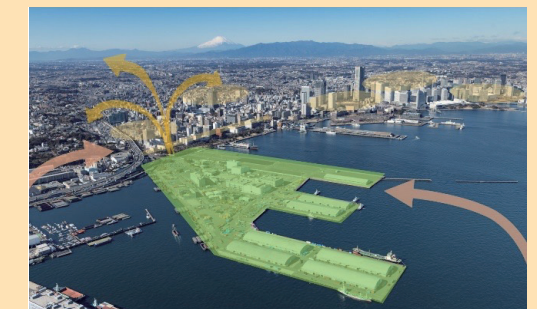


テーマⅢ 活気に満ちあふれ、周辺へと 広がる新たな賑わい



取組の考え方1 旅の目的地となる 賑わい拠点の形成

- ① 国内外の多くの人々を惹きつけるコンテンツの導入
- ② 多様な手段による誘客促進



取組の考え方2 市域全体の活性化に つながるまちづくり

- ① 市域に広がる魅力と相乗効果を生み出す賑わいの創出
- ② 地域経済の活性化と雇用創出

注) 写真はイメージです

再開発のテーマと取組の考え方（概要）

「緑・海辺のまち」を支えるインフラ構築と空間整備



取組の考え方1

まちをつなぎ、賑わいが広がる交通機能の強化

- ① 新たな交通結節点の形成による広域アクセス機能の確保
- ② 埠頭周辺の交通ネットワーク構築による利便性・回遊性の向上
- ③ 埠頭内の円滑な移動につながる環境整備



取組の考え方2

誰もが安心して滞在できる、災害に強いまちづくり

- ① 市域全体の防災力向上につながる拠点形成
- ② 有事に備える空間づくりと体制の構築



取組の考え方3

横浜の新たな象徴となる魅力的な景観デザイン

- ① 世界に魅せる、時代を超えて愛される都市景観の創出
- ② 都心臨海部全体との調和と、個性の発揮のバランス
- ③ 山下ふ頭ならではの景観体験の創造

注) 写真・イラストはイメージです

答申を踏まえた基本的な方向性の閲覧方法・説明動画

市ホームページでの閲覧

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/yokohamako/kkihon/keikaku/yamashita/joi/hokosei.html>



紙面での閲覧

- ・市民情報センター（市庁舎 3階）
- ・各区役所 広報相談係

説明動画もこちらからご覧いただけます▲



あなたの意見をお聞かせください

募集期間

令和7年7月1日(火)～9月9日(火)

応募方法

次の方法で、ご意見をお寄せください。

①はがき(右のはがきを切り取り、ご使用ください。)
【切手不要 当日消印有効】

②インターネット入力フォーム

スマートフォンで回答される方

右の二次元コードからアクセスし、横浜市電子申請・届出システムにお進みください。



PCで回答される方

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/yokohamako/kkihon/keikaku/yamashita/joi/hokoseiiken.html>

応募にあたっての注意事項

- 電話や口頭でのご意見の受付や、個別の回答はいたしません。
- いただいたご意見の概要を、後日公表します。
- ご意見に付記いただいた個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等に基づき適正に管理し、本市民意見募集に関する業務にのみ利用します。

ご意見のある項目に☑し、下にご記入ください。

☐ 山下ふ頭の将来像(全体について)

再開発の各テーマと取組の考え方

- ☐ I 緑・海辺 ☐ II イノベーション ☐ III 賑わい
- ☐ 市民が結ぶ新たなまちの環
- ☐ 交通機能の強化 ☐ 災害に強いまち ☐ 景観

☐ その他

Form area for providing opinions, with multiple lines for text entry.